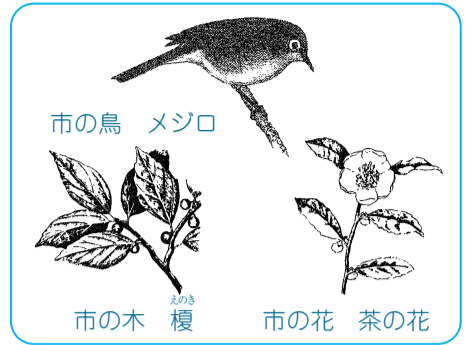


# まがいたお

武蔵村山市



市の鳥 メジロ

市の木 えのき 榎

市の花 茶の花

発行／武蔵村山市議会 〒208-8501 武蔵村山市本町一丁目1番地の1 ☎042-565-1111

武蔵村山市議会 検索 メールアドレス gikai@city.musashimurayama.tokyo.jp

## 平成25年 第1回臨時会 第2回定例会

### 議会の新しい役職決まる

### 「多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の 一日も早い実現を求める決議」を可決



スポーツ祭東京2013炬火リレー

#### 第1回臨時会の概要

平成25年第1回臨時会は、5月15日に開かれました。この臨時会では、市長提出議案3件、議員提出議案2件と議会役職について審議・審査されました。

#### 第2回定例会の概要

平成25年第2回定例会は、6月6日から6月25日までの20日間の会期で開かれました。この定例会では、今回提出された市長提出議案9件、委員会提出議案2件、議員提出議案4件、陳情2件が審議・審査されました。

また、18人の議員が55項目について一般質問を行いました。

### 議会日誌

4月	10日(水)	議会報編集委員会
	12日(金)	小平・村山・大和衛生組合 議会臨時会
	15日(月)	議会報編集委員会
5月	7日(火)	会派代表者会議
	8日(水)	会派代表者会議
	15日(水)	第1回市議会臨時会本会議
		議会運営委員会
		総務文教委員会
		厚生産業委員会
		建設環境委員会
		交通対策特別委員会
		横田基地の民間機利用促進等に関する調査特別委員会
		議会改革に関する調査特別委員会
	24日(金)	第51回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会
	29日(水)	小平・村山・大和衛生組合 議会臨時会
	30日(木)	会派代表者会議
		議会運営委員会
		三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会
6月	6日(木)	第2回市議会定例会本会議
		(初日)
		全員協議会
		議会運営委員会
	10日(月)	本会議(一般質問)
	11日(火)	本会議(一般質問)
		議会運営委員会
	12日(水)	本会議(一般質問)
	13日(木)	本会議(一般質問)
	19日(水)	総務文教委員会
		議会運営委員会
		議会運営委員会
		厚生産業委員会
	20日(木)	第2回市議会定例会本会議
	25日(火)	(最終日) 会派代表者会議



田代 芳久 (新政会)

問 市の施設の駐車場整備について

①野山北公園、かたくりの湯付近に駐車場を増設し、付近の民家に迷惑をかける対策をすべきと思うが、②中村運動広場に隣接する市の所有地を駐車場にする考えはないか。

答 ①駐車場が一時的に満車となる状況は認識しており、のぞみ福祉園駐車場を借用するとともに、交通誘導員を配置して対応している。今後効果的な誘導員の配置や公共交通機関の利用について、指定管理者に話しをしていきたい。なお、隣接する都立野山北・六道山公園の来園者も駐車している状況があることから、東京都に駐車場の整備についてお願

いをした。②庁内に設置している「普通財産の有効活用等検討委員会」において活用方法を検討しており、今後も引き続き検討を行っていききたい。

部区域においてトレンチ調査等を行う。平成26年度には、その調査結果をもとに地震予測等を実施することである。②東京都が発表した被害想定によると、地震の規模はマグニチュード7・4、震度は6強または7と想定されている。

ることを目的としている。②1校時の授業開始時刻を8時15分、給食開始時刻を12時35分として時間割を設定しており、その上で、各授業の間に5分間の準備時間を設け、さらに中休みや昼休みを20分間確保する時間を通年でやっている。このことから、本市における取り組みを「完全午前5時間制」と称している。

問 瑞穂斎場の利用について

問 小、中学校及び公園や運動広場等の器物損害について

問 主要市道第26号線拡幅整備事業について

①平成24年度の式場の年間平均待ち日数と、最長待ち日数を伺う。②家族の精神的、また費用等の負担軽減を考え、式場を増設し待ち日数の短縮ができないか伺う。

①小、中学校での器物損害について市としてどのように考えているか伺う。②公園や運動広場等での器物損害について市としてどのように考えているか伺う。

主要市道第26号線拡幅整備事業の進捗状況について伺う。

①式場の年間平均待ち日数は、大式場4・7日、中式場5・8日、小式場6・0日となっております。②民間事業者による式場が平成25年4月に開設され、使用料金を瑞穂斎場組合と同料金にしていたなど協力をいただいております。式場の増設は、民間事業者との関係で難しいと考えている。

①原因が不可抗力の場合、又は特定できない場合は、修繕等に対応し、明らかに故意で原因者が特定できる場合は、損害賠償を請求している。②早急に修理を行い、利用者の不便にならないよう努めるとともに、悪質な損壊については、警察署に被害届を提出するなどの措置を取っている。

平成24年度に、道路現況測量、用地確保を完了した。平成25年度は、土地開発公社による用地取得を予定している。

問 未納問題について

①平成24年度末の給食費の小学校、中学校それぞれの未納人数と未納額を伺う。②平成25年度4月の保育料の未納人数と未納額を伺う。

問 デマンド型の乗合タクシー、むらタクについて

問 ふるさと寄附(ふるさと納税)制度の活用について

①未納人数は、小学校112人、中学校54人となっている。未納額は、小学校192万1472円、中学校101万8002円となっている。

①デマンド型の乗合タクシー、むらタクに登録されている方の人数を伺う。②利用している方のむらタクの感想について伺う。

現状と今後の課題。また、寄附者の意思に基づいた、さらに具体的な使途メニューの設定ができないか伺う。そして、同様の制度を法人も活用できないか伺う。

②未納人数は、410人、未納額は323万4600円となっている。

①平成25年5月末日現在、339人である。②「自宅まで迎えに来てくれる」等の感想をいただいている。

平成20年度から24年度までの累計で、65件、約1863万2千円の寄附をいただいている。寄附金の使途は、「むらやまエダラまつりを応援」や「多摩都市モノレールの走るまちづくりを応援」など7項目のメニューを準備しているほか、具体的な事業を指定することも可能となっている。また、本制度の対象は個人となっているものの、法人が寄附をした場合は、一般的な寄附より税制上有利であり、今後はこの点を周知し、法人に対しても寄附を呼び掛



比留間 朝幸 (新政会)

問 立川断層帯と地震について

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

問 午前中に5時間授業を行うことについて

問 一方の情報提供でなく双方向コミュニケーションを目指したSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)の運用を

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

①調査発表後の立川断層帯の調査はどのようなだったか伺う。②立川断層帯による地震が本市に及ぼす影響について伺う。

①午前中に5時間授業を第二小学校が行っているがその目的について伺う。②午前中に5時間授業を行うことで中休みや昼休みなどの時間を切り詰めるのか伺う。

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。



炬炎おこし

問 企業誘致条例のさらなる活用による産業活性化について

問 ツイッターのフォロワー数やフェイスブックページの投稿を見た人の人数が増えているとともに、イベント開催等の投稿に対して、利用者からは「参加してみたい」などのコメントもあることから、有用な情報伝達手段と感じている。また、双方向性を生かした取り組みは、市の催し物情報や防災情報等の情報発信のみを基本としているが、今後運用方法を検証する担当会議で協議していきたい。

現状と今後の課題、企業からの要望を踏まえた優遇制度などの見直しが必要であると思うが、市の考えを伺う。また、企業撤退に備えての対応を伺う。

平成24年12月28日に施行し、平成25年5月末までに2件の企業の指定制を行った。今後、本条例の運用実績や企業からの要望等を踏まえ、必要に応じて制度の見直しをしていきたい。また、企業撤退に備えての対策は、今後の研究課題とさせていただきたい。

問 一方の情報提供でなく双方向コミュニケーションを目指したSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)の運用を

主要市道第62号線はスクールゾーンとなっているが北側150メートルが対象外である。安全のため北側も配慮する必要があると思うが、市の考えを伺う。

フェイスブックなどのSNSを導入して半年が経過した。市としての評価を伺う。今後、SNSの最大のメリットである双方向性を生かした取り組みについて伺う。

新青梅街道から主要市道第62号線への進入については、道路標識、通学路標識、通行禁止啓発看板により、スクールゾーン及び通学路の予告や注意を促し、安全確保に努めている。



高橋 薫 (公明党)

問 市職員の市民への対応について

市民の立場に立った対応や高齢者への配慮が足りないなどの職員の対応について苦情が複数あった。職員の意識改革の徹底が必要と思うが市の考えを伺う。

答 職員の資質の向上や意識改革を図るため、「人材育成基本方針」及び「研修基本方針」に基づき、各種研修等を実施している。今後も引き続き、人材育成施策の推進や研修内容の充実に努めていく。

問 乗合タクシー、むらタクについて

①現在の登録者数と利用者数。②乗降場所をもっとふやせないか。③利用者や市民の声。④利用者をもっとふやすための工夫。⑤現時点での課題は。

答 ①平成25年5月末日現在の利用者登録数は339人、利用者数は4月からの累計で209人である。②地域公共交通会議の協議事項となっており、利用者からの意見等を踏まえ、必要に応じ会議に諮ってみたい。③乗降場所の追加や他の地域への導入等の意見をいただいております。今後対象地域の世帯を対象にアンケートを実施し、意見や要望を集約していく。④⑤「むらタク」の利便性を広く周知し、利用者登録数を増やさないため、一層の周知に努めていく。

問 ICTを活用した教育の充実について

ICTを活用することにより、子どもたちの理解力や興味を高め、教職員の日常の煩雑な業務を大幅に軽減することが可能となると考える。市の今後の取り組みについて伺う。

答 教職員へは校務用パソコンを配備し、事務処理等の効率化を図っている。今後もICTを活用し、情報活用能力の育成を図っていく。

問 災害時要援護者の支援体制について

①現在の要援護者の把握状況と災害時の支援体制について。②実効性のある要援護者の個別支援プランづくりと、名簿情報の共有化について伺う。

答 ①登録を希望される方からの申請に基づき把握しており、370人が名簿登録されている。また、民生委員、消防署、警察署へ提供し、家庭訪問等の支援を行っている。②武蔵村山市地域防災計画との整合性を図りながら、策定していきたい。また、名簿情報の共有化は、名簿情報提供できることを盛り込んだ、災害対策基本法改正法案が国会で審議中であることから、これらの動向を見ながら検討していきたい。

問 野山北公園・かたくりの湯の駐車場について

晴天の日の土曜日、日曜日、祝日は、駐車場が足りなくなる状況が続いている。今後の観光施策の充実とあわせて駐車場の増設を検討すべきと思うが市の考えを伺う。

答 駐車場が一時的に満車となる状況は認識しており、のぞみ福祉団駐車場の借用とともに、交通誘導員を配置して対応している。今後効果的な誘導員の配置や公共交通機関の利用について、指定管理者に話しをしていきたい。なお、隣接する都立野山北・六道山公園の来園者も駐車している状況があることから、東京都に駐車場の整備についてお願いをした。



沖野 清子 (公明党)

問 小学校午前5時間授業について

①午前5時間授業のねらいとメリットについて伺う。②課題と今後の取り組みについて伺う。

答 ①②年間の授業時数を多く確保することにより、学力の定着を図ったり、体験活動等を充実させたりするとともに、「早寝、早起き、朝ごはん」など、児童の生活習慣を改善することを目的としている。今後は、地域との連携をさらに深め、より多くのゲストティーチャーを招聘するなどして、内容の充実を図ることが課題である。今後とも、「完全午前5時間制」の趣旨を踏まえた学校評価を通して、教育課程を一層充実していく。

問 買い物難民対策について

①まいど〜宅配事業の利用状況について伺う。②緑が丘地域おかねづかステーションでの宅配サイクルカーゴの利用状況について伺う。③現在の課題と今後の取り組みについて伺う。

答 ①②③商工会が実施している、まいど〜宅配事業の宅配件数は、平成24年度実績で2810件、宅配サイクルカーゴの利用回数は、107回とのことである。まいど〜宅配事業は、地域密着性を生かした大型店対策事業として、また、買い物弱者対策として効果的な事業であると認識している。今後は、サービス向上や、より多くの方に利用していただくための工夫について、商工会に話をしていきたい。

問 道路拡幅整備について

平成22年度請願提出の一般市道A

第16号線拡幅整備について、一般市道A第25号線、A第100号線及びA第98号線の拡幅整備について進捗状況を伺う。

答 一般市道A第16号線拡幅整備は、谷戸川の将来計画や用地取得、河川改修工事等の検討が必要であり、市の全体計画の中で検討している。一般市道A第25号線、A第100号線及びA第98号線も、引き続き、市の全体計画の中で検討していく。



藤野 茂 (新国会)

問 新青梅街道拡幅の進捗状況について

新青梅街道拡幅の事業認可(上北台から神明四丁目)を受け、事業に着手してから1年余りが経過した。そこで、新青梅街道拡幅の進捗状況について伺う。

答 現在、上北台から第三中学校前付近までの約1.1キロメートル及び瑞穂町内の約1.4キロメートルにおいて用地取得を行っており、全体延長約6.7キロメートルのうち、37パーセントの区間で事業化されている。今後は、事業化された区間で引き続き用地取得を進めるとともに、三本榎交差点付近から三ツ木交差点付近までの約1.5キロメートルの区間で、平成26年度の事業認可の取得を目指して、必要な準備を進めて行くとのことである。

問 交付金の見直しについて

モノレールを呼ぼう!市民の会の活動を積極的に支援するため、同会への交付金を増額すべきと思うが、市の考えを伺う。

答 モノレールを呼ぼう!市民の会には、市民レベルでの意識啓発、PR活動という重要な役割を担っていただいております。市も市民の会と連携しながら取り組んでいる。市としては、市民レベルでの活動のPR効果を高めるためにも、より一層会員の裾野を広げることで活動の充実を図っていただきたいと考えており、現在のところ交付金の増額は考えていない。

問 つみき保育園の運営状況について

平成24年4月1日から指定管理者の運営となり1年余りが経過したが、次の3点について伺う。①園児の定員数について。②年間行事について。③延長保育の利用状況について。

答 ①146人でその内訳は、0歳児18人、1歳児20人、2歳児24人、3歳児25人、4歳児29人、5歳児30人となっている。②指定管理者導入前の行事を継承しつつ、新たな行事を加えるとともに季節に応じた催しを考慮し、行事を行っている。③平成24年度実績で、1時間延長保育の利用回数は3304回、2時間延長保育の利用回数は266回、計3570回となっている。



濱浦 雪代 (公明党)

問 保育事業について

①保育ママ制度の現況について。②スマート保育、認定こども園など新規事業への取り組みについて。

答 ①大南地区に平成25年6月1日から開設し、保育希望の乳幼児を募集している。②市内にスマート保育及び認定こども園はない。なお、現行の東京都スマート保育事業は、子ども・子育て関連3法の本格施行時には小規模保育事業に移行すること



問 大南公園について

①公園ボランティアとの協働による花壇づくりについて。②公園内プールの解体時期と管理棟の修繕整備について。③プール及び周辺跡地の活用について。

答 ①平成25年度の実施に向け、現在準備を進めている。②6月中旬から8月末までの期間に行う予定となっている。管理棟は、大南公園内の体育施設の管理用施設として利用しているが、今後管理棟の有効利用を考えて行く中で、施設の改修についても考えていく。③今後検討していきたい。

問 都営村山団地後期計画について

①後期計画の提示状況について。②後期計画で若年向けの定期使用住宅を取り入れられないか伺う。③市の施設について。

答 ①平成24年11月の広資料第134号及び12月に公表された、環境影響評価計画書に示された事項以外の具体的な内容は、市へ示されていない。②今後の後期計画の協議の中で、若年ファミリー世帯などの入居を促進することができないか、東京都とともに検討していきたい。③都の後期計画の検討にあわせて、どのような施設とするか検討していきたい。



梶山 敏夫 (日本共産党)

問 公共施設使用料の見直しについて

市内に設置されたワーキンググループから報告書が出された。報告書の内容とその取り扱い、今後のスケジュール等について伺う。

答 平成25年3月末に報告書がまとめられた。今後当該報告書の内容等を踏まえ、さらに検討していきたい。

問 武蔵砂川駅バリアフリーと駅前広場整備について

多くの市民が利用している武蔵砂川駅にバリアフリー計画が出されている。事業内容とスケジュール、駅前広場の整備計画等を伺う。

答 駅構内における移動円滑化を目



栄村駅伝スタート

的に、改札内にエレベーター、多機能トイレ等を設置するものであり、西武鉄道株式会社の報告によると、工事期間は平成25年7月から26年3月までとなっている。駅前広場は、立川市に伺ったところ、西武拝島線に並行する立川市道2級16号線及び立川市道2級25号線を結ぶ区域面積約5200平方メートルの広場であり、平成28年度の供用開始を目標に事業を実施していることである。

問 立川飛行場のヘリコプター問題について

相変わらず休日や深夜の飛行、編隊飛行が繰り返されている。周辺自治体連絡会が発足したが、部品落下事故の調査をはじめ、どうい対応策を話し合っているのか。

答 平成24年度は、騒音防止や航空機事故対策又は周辺自治体への情報提供の要請活動等について協議し、陸上自衛隊等に対しての総合要請、立川防災航空祭に係る要請等を行っている。



鈴木 明 (民主党)

問 子どもの安全・事故防止について

①本市における、家庭内事故の現状は。②事故の情報整理、原因分析情報提供等は行っているのか。③原因に即した効果的な事故予防対策は行われているのか。

答 ①②③医師会、北多摩西部消防署、東大和警察署に伺ったところ、把握していないとのことである。

問 ホーム・スクールについて

①ホーム・スクールについて教育委員会の考えを伺う。②ホーム・スクールについてのメリット・デメリットは。③本市でホーム・スクールを認めた例はあるか。

①②③日本では、学校教育法により就学義務が定められていることから、制度としては認めていない。しかしながら、何らかの理由で登校できない児童・生徒については、適応指導教室への通級、学級担任等の定期的な家庭訪問等、教育委員会と学校が一体となって、引き続き学校復帰支援を充実させていきたい。



高橋 弘志 (公明党)

問 高齢化対策について

①介護施設の増設に対する市の考え方について。②在宅介護における補助制度等の拡充について。③人感センサーの活用等、孤独死対策の充実について。



内野 直樹 (日本共産党)

問 日本国憲法や子どもの権利条約を生かし、子どもの発達と成長を中心に据える学校教育を

①過去3年間で学校内外での出来事に警察が出勤したことはあるか。②過去3年間で出席停止の例はあるか。③障害のある児童・生徒への教員配置はどうなっているか。

答 ①交通安全指導や不審者対策等について、学校と警察が連携して対応した事例がある。②出席停止となった児童・生徒はいない。③東京都教育委員会の学級編制基準に基づき、特別支援学級には2学級に3人など、

①市内の30代1万8777人のうち、未婚者は3472人、40代9604人のうち、未婚者は2096人となっている。②平成23年に、武蔵村山市消防団有志の主催による「お見合いフェスタ」、東京みどり農業協同組合の主催による「青壮年部出合いのパーティー」が開催された。今後も引き続き機会をとらえて、各種団体に話をしてみたい。③平成23年度の合計特殊出生率は、全国平均は1.39、東京都平均は1.06、本市においては1.40となっている。

問 使用済み小型電子機器の再資源化の取り組みについて

使用済み小型家電の回収・リサイクルを推進するため、国は平成25年4月1日から小型家電リサイクル法を開始したが、市の対応について伺う。

答 廃棄物の適正な処理及び資源の有効活用を図るため、平成25年度中に、回収方法等の検討をする予定であり、現在、情報収集を行っている。



田口 和弘 (新国会)

問 東京駅伝の中学生派遣について

前大会での成績を踏まえ、第5回東京駅伝に向けた市の取り組みについて考えを伺う。

①40人のクラスはいくつあるか。また、それに対して特別な手立てはとっているか。②国が見送った35人学級全年齢学級を市独自で進めたらどうか。

答 ①40人のクラスは、小学校で7クラス、中学校はない。学級編制は、東京都公立小学校中学校及び中等教育学校前期課程の学級編制基準に基づき編制している。②国や都の検討経過や動向を見守っていく。

問 安心・安全の学童クラブ運営に

①弾力的受け入れ超過の学童はあるのか。②障害児が2人以上入所しながら、定員超過の学童はあるのか。③今回入所できなかった理由の内訳について。

答 ①②学童クラブは、5月1日現在12施設で、弾力的運用により児童の受け入れを行っている学童クラブは3施設。また、2人以上の障害のある児童を受け入れて定員超過している学童クラブは2施設となっている。③年度当初に比べ、年度途中の入所が難しい状況となっているが、例年夏休み明けには待機児童が減少する傾向にある。

により、選手への事前指導を一層充実させるとともに、平成24年度に引き続き、幟旗等の作成や応援のためのバスの確保などにより、応援体制の拡充に努め、選手が本市の代表としての誇りをもって、参加できるようにしていきたい。

問 市内循環バスの利用状況について

ワンコイン運行での利用状況の総括と4月のルート再編後の市内循環バスの利用状況はどうなっているか伺う。

答 実施前と比較して、月平均で輸送人員は27パーセント増、運賃収入は10パーセント減となり、利用者が大きく増えただけでなく、運賃の変更をきっかけにMMシャトルを利用し始めた利用者が33パーセントに上るなど、公共交通への転換や市民サービスの向上に大きく寄与した。ルート再編後は、前年同月比で輸送人員は8パーセント減、運賃収入は27パーセント増となっている。対キロ運賃だった平成22年度と比較すると増加傾向にあり、ルート再編と170円均一料金導入に加え、ワンコイン運賃試行によるMMシャトルの市民への浸透の効果が現れているものと考えている。

問 市立図書館の利用について

近隣市町図書館と図書館相互利用協定を結んだが、その後の利用状況はどうなっているのか伺う。

答 平成24年度の武蔵村山市民が2市1町で利用した状況は、昭島市で671点、東大和市で1万7929点の貸し出しを受けた。なお、瑞穂町での貸出点数は、武蔵村山市民に限定した貸出点数は未統計のことである。また、本市の図書館の利用状況は、昭島市民608点、瑞穂町民411点、東大和市民6770点の計7789点の利用であった。



竹原 キヨミ (日本共産党)

**問 孤独死防止ネットワークの充実について**

①高齢者など孤独死防止ネットワークづくりの進捗状況を伺う。②国は未整備のままみどりの場を病院から在宅へと政策転換したが市の整備計画について伺う。

**答** ①平成24年度から、緑が丘地区において、孤立死や熱中症を防止するための取り組みとして、民生・児童委員、自治会、ガス供給業者及び薬剤師等の関係者が集まる交流会を開催し、地域の関係者の連携の強化を図っている。②多摩立川保健所及び構成6市の医師会等の協議の場である、北多摩西部地域保健医療協議会の地域保健医療推進プランにおいて協議していききたい。

**問 障害者の自立支援について**

①都営住宅の2棟に開設されたグループホームを同じ号棟に移せないか。②身障手帳所持者が65歳になると介護保険優先になるが障害者総合支援法のサービス利用について伺う。

**答** ①多くの方々の理解と協力を得て、平成25年度開設に至ったものであり、現在のところ、運営上支障はないと認識している。②身体障害者手帳所持者が65歳になった場合、基本的には介護保険のサービスが優先される。ただし、介護保険のサービスに該当するものがない場合などは、障害者総合支援法に基づくサービスを、利用していただくことになる。

**問 生活保護と貧困ビジネスについて**

①基準引き下げの内容と影響について。②無料低額宿泊所を悪用した

貧困ビジネスの根絶について伺う。③支給決定通知の改善(特に就労収入と控除)を伺う。

**答** ①生活扶助基準が細分化され全体的に影響があるが、都市部である1級地の1と異なり、本市は1級地の2に位置しているため、比較すると影響額は少ないと考えている。②ケースワーカーが施設に入居している生活保護受給者への訪問に合わせ、一つの例として、消防設備が法令に適合しているか等の確認を行っている。③収入の状況は多種多様であり、見直しは困難であることから、改正の予定はない。

**問 磁気ループシステムの設置について**

地区会館等の公共施設への難聴者用磁気ループシステムの設置について伺う。

**答** 平成25年度から市民会館内のホール、展示室、会議室において利用できるよう携帯型ものを導入した。今後市民会館での利用状況や効果などを見ながら考えていく。



須藤 博 (民主党)

**問 自治会への補助金について**

自治会の加入率は低下を続けており、市の財政面からのバックアップが必要だ。①活動費補助金の弾力化と増額を。②中古物件の購入にも補助制度の適用を。

**答** ①自治会の活動を支援する目的で、活動費の一部を補助するものである。また、自治会の加入率を高めるため、活性化に向けた活動に要する費用に対して、自治会活性化活動費補助金を交付している。②新築、増改築又は修繕が対象となっている

ので、中古物件に対する補助は考えていない。

**問 学校芝生サポーターについて**

校庭芝生は良いが維持費が高額である。業者に委託している作業を徐々にサポーターに移行できないか伺う。

**答** 維持管理は、専門業者への委託、保護者や地域の方などで構成されるグリーンサポーターが行っている。維持管理作業等は、専門業者がグリーンサポーターに対して、指導、助言等を行いながら実施していく。

**問 不用品あっせん事業について**

事業評価では利用率が低い。廃止と答申されているが、利用率を高める努力の余地はないか伺う。

**答** 平成25年3月に行政評価委員会から、廃止することが適当であると答申をいただいた。現在この答申を検討している。



木村 祐子 (市民のチカラ)

**問 乳幼児と親が利用する公共施設の充実について**

保育園の待機率が高い小さな子どもを持つ方々が、交流の場として活用することができると公共施設内子どもカフェのような施設として利用できないか伺う。

**答** 親子の触れ合う場の提供として、子ども家庭支援センターの広場事業の「ひよこルーム」のほか、子育て支援拠点事業の子育てセンター事業を1か所、子育て広場事業を3か所計4か所の保育園で実施している。なお、平成25年度新規事業として、乳幼児とその保護者が気軽に交流できる(仮称)子どもカフェ事業の準備を進めている。

地域コミュニティの活性化について

市職員の地区担当制等、市民に寄り添う施策を生かし、地域コミュニティの活性化に向け、今後どのように展開する考えか伺う。

**答** 地域の各種団体の連携や地域の課題抽出を図るため、小学校通学区ごとに「(仮称)地域みんなでまちづくり会議」を設立し、市職員を派遣し、地域と市が一体となった協働のまちづくりを目指すとともに、市民の自主的なまちづくりを推進していく。



高山 晃一 (新国会)

**問 学校施設の環境整備について**

①中学校の部活動の活動状況について伺う。②部活動の部室の設置状況について伺う。③運動部の更衣室がない部があると聞くが現在の対応と今後の対策について伺う。

**答** ①全校の合計で、運動系部活動が52部、文化系部活動が30部設置されており、授業日の始業前や放課後、土曜日・日曜日等、週1回から週5回程度の活動を行っている。②現在いずれの中学校においても、設置はしていない。③生徒更衣室や教室等を活用して、男女別に扉のある部屋で、着替えを行うこととしている。

**問 久保の川(三ツ木五丁目28、29番地付近)のふたかけについて**

主要市道第17号線、三ツ木五丁目28番地付近は道幅が狭く、歩行者等の通行に大変支障を来している。そこで、久保の川にふたかけをし、歩行者等が安心して通行できるように望むが市の考えを伺う。

**答** 武蔵村山市公共下水道事業計画に定める雨水整備区間であり、開渠による雨水幹線の整備を行う計画となっていることから、ふたかけをし、歩道とすることは難しいと考えている。



水防訓練！ぞいなぞい



吉田 篤 (公明党)

**問 待機児童解消対策について**

①直近の年齢別待機児童の現状は。②新たな待機児童解消策の考えは。③東京スマート保育事業の活用についての対応は。

**答** ①全体の認可定数20009人に対して、入所者数が1995人である。所率99パーセントとなり、歳児別待機者は0歳児1人、1歳児37人、2歳児3人、3歳児7人、4歳児5人、

**問 公園の使用について**

ボール遊びができる公園が必要と考えるが市の対応は。

**答** 硬いボール、バットを使用した野球や集団でのサッカーなどの使用は禁止している。やわらかいボールを使って親子で遊ぶキャッチボールやパス回しなどは、市民等から同様の要望があることから、今後他市等の事例を研究していきたい。

**問 学校教育について**

①柔道の指導についてその目的と指導上の注意点は。②小、中学校で特に禁止されている持ち込み物品は。

**答** ①目的は、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができるようにすること、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事などとなっており、指導に際しては、指導者が必ず事前に十分な研修を受け、生徒の技能の習得状況に応じた適切な指導を行うなど、安全管理の徹底に努めている。②持って来てはいけない物として、現金、携帯電話、ゲーム機、菓子類などを、具体的に例示している学校もある。なお、家庭の事情等で、携帯電話をもって来る必要がある場合には、下校時まで預かるなどの対応例もある。



宮崎 起志 (公明党)

問 モノレールのための募金シテムについて

1日も早いモノレールの延伸実現のために、機運醸成の一助ともなる募金シテムを設けることを提唱した。市は研究するとしていたが、研究状況について伺う。

答 7月から市役所等主要な公共施設において、先行的に実施することを目標に、平成25年度一般会計補正予算第2号において、募金の歳入科目の新設を行ったほか、ポスターや募金箱の作成などの準備を行っている。

議会の会派構成

新 政 会 8人

- ◎高山 晃一
◎藤野 茂

- 田口 和弘
比留間朝幸

- 波多野 健
川島 利男
波多野征敏
田代 芳久

公 明 党 6人

- ◎宮崎 起志
◎高橋 弘志

- 濱浦 雪代
沖野 清子
吉田 篤
高橋 薫

日 本 共 産 党 3人

- ◎靱山 敏夫
内野 直樹
竹原キヨミ

民 主 党 2人

- ◎須藤 博
◎鈴木 明

市 民 の チ カ ラ 1人

- ◎木村 祐子
◎は代表
◎は副代表

議 会 の 新 し い 役 職

第1回臨時会において、正副議長、常任委員会委員等の改選が行われ、その他の委員についても変更がありました。議会の新しい役職は、次のとおりです。

市議会役職一覧

- 議長 川島 利男
副議長 沖野 清子

常任委員会等の委員

総務文教委員会

- ◎須藤 博
◎波多野 健
波多野征敏
内野 直樹
高橋 薫

厚生産業委員会

- ◎高橋 弘志
◎竹原キヨミ
高山 晃一
田口 和弘
比留間朝幸
鈴木 明
沖野 清子

建設環境委員会

- ◎靱山 敏夫
◎藤野 茂
木村 祐子
川島 利男
宮崎 起志
吉田 篤

議会運営委員会

- ◎宮崎 起志
◎高山 晃一
木村 祐子
須藤 博
藤野 茂
靱山 敏夫
高橋 弘志

交通対策特別委員会

- ◎高橋 弘志
◎田口 和弘
比留間朝幸
木村 祐子
須藤 博
田代 芳久
内野 直樹
竹原キヨミ
沖野 清子
吉田 篤

横田基地の民間機利用促進等に関する調査特別委員会

- ◎波多野 健
◎吉田 篤
木村 祐子
鈴木 明

- 波多野征敏
藤野 茂

- 靱山 敏夫
竹原キヨミ

議会改革に関する調査特別委員会

- ◎宮崎 起志
◎高山 晃一
田口 和弘
比留間朝幸
波多野 健
木村 祐子
須藤 博
藤野 茂
靱山 敏夫
内野 直樹
高橋 弘志
吉田 篤

その他の委員会等の委員

会派代表者会議

- ◎宮崎 起志
◎高山 晃一
木村 祐子
須藤 博
靱山 敏夫

市議会情報公開審査会

- ◎濱浦 雪代
◎田口 和弘
木村 祐子
須藤 博
藤野 茂
田代 芳久
竹原キヨミ
高橋 弘志

市議会個人情報保護審査会

- ◎比留間朝幸
◎鈴木 明
波多野 健
木村 祐子
波多野征敏
内野 直樹
沖野 清子
吉田 篤

議会報編集委員会

- ◎吉田 篤
◎波多野 健
田口 和弘
木村 祐子
鈴木 明
内野 直樹
高橋 弘志

行政委員会委員

監査委員

- 高山 晃一

農業委員会

- 波多野征敏
宮崎 起志

一部事務組合議会議員

小平・村山・大和衛生組合議会

- 木村 祐子
須藤 博
藤野 茂
濱浦 雪代

湖南衛生組合議会

- 靱山 敏夫
高橋 弘志

昭和病院組合議会

- 内野 直樹
吉田 篤

東京たま広域資源循環組合議会

- 田代 芳久

瑞穂斎場組合議会

- 田口 和弘
比留間朝幸
宮崎 起志

東京都後期高齢者医療広域連合議会

- 鈴木 明

協議会委員等

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

- 川島 利男
鈴木 明
波多野 健
木村 祐子

東京都三多摩地区消防運営協議会

- 川島 利男

市議会議員共済会

- 川島 利男

東京河川改修促進連盟

川島 利男

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

川島 利男

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

川島 利男

土地開発公社評議員

須藤 博

比留間朝幸

木村 祐子

稲山 敏夫

都市計画審議会

木村 祐子

波多野征敏

竹原キヨミ

民生委員推薦会

比留間朝幸

青少年問題協議会

田口 和弘

国民健康保険運営協議会  
(公益代表)

波多野 健

地域公共交通会議

藤野 茂

濱浦 雪代

稲山 敏夫

田口 和弘

波多野 健

藤野 茂

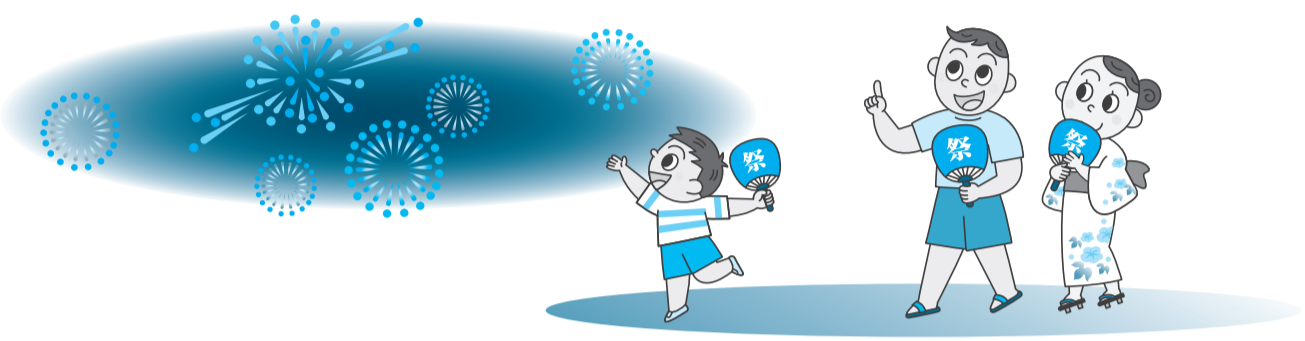
内野 直樹

沖野 清子

鈴木 明

田代 芳久

濱浦 雪代



# 可決した議案

## 第一回臨時会

### 予算

▼平成25年度武蔵村山市一般会計補正予算(第1号)  
補正額319万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を264億7174万円とするもの。

### 専決処分

▼専決処分の承認を求めることについて  
○武蔵村山市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例  
地方税法の一部を改正する法律が平成25年3月30日に公布され、特定継続世帯に係る国民健康保険税の軽減特例措置等が講じられたことに伴い、緊急に武蔵村山市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する専決処分の承認を求めるもの。

### 人事

▼この臨時会において、正副議長、常任委員会委員等の改選が行われました。  
内容は、6ページをご覧ください。

### 決議

この臨時会で、次のとおり決議1件を可決しました。  
▼市民生活に欠かすことのできない

## 第二回定例会

### 条例

▼武蔵村山市立学校教員研修奨励基金条例  
武蔵村山市立学校の教員が行う研修を奨励することにより、その資質の向上及び能力開発を図り、もって学校教育の推進及び充実を図るため、基金を設置するもの。

### 予算

▼武蔵村山市子ども・子育て会議条例  
子ども・子育て支援法第77条第1項の規定により置く武蔵村山市子ども・子育て会議の組織及び運営に関して必要な事項を定めるもの。

### 報告

▼武蔵村山市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
外国語指導助手の報酬の額を改定し、及び非居住者である外国語指導助手に対して報酬の額を加算する措置を講ずるもの。

### その他

▼武蔵村山市税賦課徴収条例の一部を改正する条例  
地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税及び特別土地保有税の納税義務者等に関する規定を改めるとともに、耐震改修が行われた住宅等に係る固定資産税の減額を受けようとする者がすべき申告に関する規定を整備するもの。

武蔵村山市都市計画税条例の一部を改正する条例  
地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、都市計画税の課税標準の特例に係る規定を改めるもの。

### 予算

▼武蔵村山市民総合センター設置条例の一部を改正する条例  
武蔵村山市民総合センターポラントピアセンターの名称及び事業の内容を改めるもの。

### 報告

▼武蔵村山市立学童クラブ設置条例の一部を改正する条例  
放課後児童健全育成事業の用に供する施設の充実を図るため新たに武蔵村山市立学童クラブを設置するもの。

### その他

▼平成25年度武蔵村山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
補正額241万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を13億4175万4千円とするもの。

### 報告

▼緑越明許費緑越計算書について  
平成24年度武蔵村山市一般会計の繰越明許費が報告された。

武蔵村山市土地開発公社の経営状況を説明する書類が、地方自治法の規定により提出された。

### 決議

この定例会で、次のとおり決議2件を可決しました。  
▼多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の一日も早い実現を求める決議  
▼慰安婦に関する発言に対する決議

### 意見書

この定例会で、次のとおり意見書を1件可決し、関係機関へ提出しました。  
▼直ちに原発ゼロを求める意見書  
この定例会における陳情の審議結果は、次のとおりです。

### 不採択となったもの

◇総務文教委員会  
▼武蔵村山市契約事務規則の「処分」に対する法令適用に関する陳情  
◇議会運営委員会

### 陳情の審議結果

▼「議員の紹介」の解明を求める陳情

意見の分かれた議案等							○：賛成 ×：反対	△：棄権 □：除斥
第2回定例会								
案 件	会 派 (五十音順)	新政会 (7人)	公明党 (6人)	日本共産党 (3人)	民主党 (2人)	市民のチカラ (1人)	議 結	決 果
地方分権改革に逆行する地方交付税の削減に反対する意見書		×	×	○	×	×	否	決
直ちに原発ゼロを求める意見書		×	○	○	×	○	可	決
年金2.5%削減中止を求める意見書		×	○	○	×	×	否	決
慰安婦に関する発言に対する決議		×	○	○	○	×	可	決

※（ ）は、会派所属議員数です。ただし、新政会については、議長を除いた人数です。

豆知識



意見書

地方公共団体の公益に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書です。

地方自治法第99条には、「普通地方公共団体の議会は、当該普通事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。」と規定されており、法律に根拠をおいて対外的にその意思を表明し、公共の利益の増進を図る権限がこの意見書提出権です。

具体的には、議員が発案して本会議に諮り、議長名で関係機関に提出します。

決議

議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明するために行なわれる議会の議決のことです。

決議の内容は当該地方公共団体の公益に関する限り広範な問題も可能で、例としては、今回の「多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の一日も早い実現を求める決議」などがあります。

具体的には、意見書と同様に、議員が発案し本会議に諮ります。しかし、意見書と違い法的根拠はありません。

会議録をご覧ください

議会だよりは、紙面の都合により発言の一部や要旨のみを掲載しています。

会議録は、ホームページで検索するか、市内の各図書館や市役所1階の市政情報コーナーのほか、5階の議会事務局に備えてあります。

なお、会議録は議会閉会后、おおむね2か月後の発行となります。

声の議会だより

目の不自由な方等に「声の議会だより」(90分程度のテープ)をお届けしています。ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたら、ご連絡ください。

写真差し上げます

議会だよりの写真に、あなたが写っていましたら、電話又はファックスにてお申し込みください。無料で写真を差し上げます。

なお、発送は8月中旬ごろになります。

□ファックス番号

042(564)0788

□申込受付期間

発行の日から約1か月以内

□武蔵村山市

本町一丁目1番地の1

市役所・議会事務局

042(565)1111

内線512



次の市議会定例会(平成25年第3回)は

8月下旬に開会の予定です。

▽傍聴はお気軽にどうぞ 傍聴を希望される方は、当日、議会事務局(市役所5階)へお申し出ください。

※車椅子での傍聴もできます(障害者用トイレも設置されています)。

※会議は、通常午前9時30分から始まります。

議長の行事トピックス

4月～6月



議長 川島 利男

4月

15日(月)

全国市議会議長会基地協議会関東部会正副会長・監事・相談役会議

16日(火)

東京都市議会議長会臨時総会

25日(木)

関東市議会議長会定期総会

30日(火)

東京都北多摩議長連絡協議会定例総会

5月

9日(木)

全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会議

22日(水)

第89回全国市議会議長会定期総会

28日(火)

東京都市議会議長会定例総会

29日(水)

東京都三多摩地区消防運営協議会役員会及び通常総会

30日(木)

三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会及び総会

6月

18日(火)

北方領土の返還を求める都民会議平成25年度通常総会

編集後記

早いものでもう8月、真夏の到来です。8月といえば夏休み、子どもの頃は、蝉やかぶと虫を捕って野山を駆け回ったものですが、最近では、元気に野山で遊ぶ子ども達の姿が、少なくな感じられます。

この秋にはスポーツ祭東京2013(東京国体)が開催されます。この大会では、天皇杯・皇后杯の獲得を目指して競い合う正式競技とは別に、子どもからお年寄りまで参加できる種目として、デモンストレーションとしてのスポーツ行事(通称デモスポ)が予定されています。

本市では、瑞穂町と共同で緑あふれる狭山丘陵で、ウォーキング種目が開催されます。緑豊かな自然にふれ快適なウォーキングを楽しみながら、国体に参加してみませんか。それでは皆様、よい夏をお過ごしください。

議会報編集委員

- ◎吉田 篤 ○波多野 健
  - 田口 和弘 木村 祐子
  - 鈴木 明 内野 直樹
  - 高橋 弘志
- (◎は委員長 ○は副委員長)

